
ココロ

加川千宏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

口々口

【NZコード】

N5859A

【作者名】

加川千宏

【あらすじ】

海に住む“天使”という名の人魚フルムハクは、皆に内緒で地上へと上がった。人魚は人間達は自分達の事を忌み嫌つていると専ら言つていたが、フルムハクはその真相を確かめるべく行つたのだ。そこでフルムハクは、少年にいきなり腕を掴まれ

プロローグ

私は、海底に住む“人魚”です。名前はフルムハク。人間達の言葉で「天使」を意味する名前。すっごーく気に入ってるんだ！

私の瞳は澄んだ空色。

オレンジ色の髪は、腰まであるそれを紐で一括りにして束ねてる。

…えっと、あなたは好きな人って居る？

私には、…居ます。

けれど、その人は…“人間”…。

人魚が関わってはいけない相手

…。

?最悪な出会い

海底にまで柔らかい光が射し込む程晴れた朝。

フルムハクは、こつそりと海の上に上がっていた。

ぽかぽか陽気の心地よい朝だ。

今日はこんなにも気持ちいい日。いつもは海の中に居て太陽など浴びない為、たまには外に出るのも良いだろう。…外に居たなんて親にばれたら、怒られてしまうだろうが…。

フルムハクの腰ほどの高さの岩に腰掛け、フルムハクは、めったに感じられない太陽の光を浴びていた。

「んーっ、気持ちいい！」

普段日に当たっていない為真っ白な肌が徐々に焼けるのも気にしない。

足を交互にぶらぶらと揺らす。

「…なんで皆、こんな天気のいい日に出てこないんだろう…？」

フルムハクの両親も友達も近所の知り合いも、フルムハクが知る人全員一度も外に出た事はない。

皆、人間に捕まるのが恐いのだ。

人間は非道で無慈悲な生き物で、なにより自分等と下半身だけ姿の違う氣味の悪い彼等を嫌っている。 フルムハクは昔からそう伝え聞いていた。

「…私はあんまり気にしていないけど」

ようは、彼等から何かされる前に速攻で逃げればいいのだ。

ただ、フルムハクは彼等に訊きたい事が有る為、出来る限り逃げるつもりは無い。

そもそもは、その質問の為に来たのだ。ついでに太陽を一日一杯浴びて。

「…一緒に浴びたかったなあ…」

せつかくの日の光なのに、一人でその下に居るのは空しい。

誰かと一緒に来たいなあ……。とフルムハクが思った、その時

「お前、何をしている！」

鋭い声が飛んだ。

?人間

“人間”の声。フルムハクは慌てて海に潜ろうとした。

だが、声の主がフルムハクの右腕を掴んだのが先だった。
声をかけたのは、14歳のフルムハクとあまり変わらない歳の少年。

瞳は澄んだ黄緑色。髪は同色で、耳にかかる程度だ。

「い…やつ！離してええ！！」

フルムハクが大声で悲鳴を上げる。だが、少年が腕にかける力は弱まらない。

「はっ、離して！いやあ！！」

全力で逃れようとするが、相手は仮にも男。力では適わない。

少年はフルムハクの腕を掴んだまま、彼女の一点を凝視していた。

“人間”の彼にはある筈もない、海と同じ色の彼女の“足”。

それは同時に、目の前の少女が“人間”ではない事を意味している。

「あ、あの…、私…」

「…お前、人魚なのか…？」

少年の質問には答えず、フルムハクは一目散に海に飛び込んだ。

後には、ただ呆然と立っている少年と、フルムハクが起こした波紋が残った。

フルムハクは獲物として追われる兎のごとく、とにかく海底を目指した。

思わず時々背後を振り返る。続いて握られた右手首。

まだ、触れられた感触が残っている。

「最悪…！」

海の外に出た私が馬鹿だった。危うく“人間”に捕まってしまう所だった。

「…行くんじやなかつた…」

友達・メロタに言われた通りだった。

人界なんて、行くもんじやねー！！

少しだけ、期待していた。

いつまでも“人魚”と“人間”は仲違いしているものではないと思うから。

けれど、その淡い“ユメ”は腕を捕まれた瞬間に壊れてしまった。“人魚”と“人間”は、永遠に「関わってはいけない」「互いが互いに嫌う」相手なのだ…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5859a/>

ココロ

2010年11月17日15時14分発行